

令和5年度インターンシップ

当事務所では、毎年インターンシップの受け入れを行っており、今年も9月11日(月)～22日(金)にかけて、技術系(土木職等)公務員を志望している3人の大学生を受け入れました。

当事務所でのインターンシップ実習をとおして、技術系公務員の業務を知り、将来のキャリアプランを考える一助となることを期待しています。



道路パトロールに同行する
寺島さん、赤井さん、今井さん(左から)



インフラツーリズム(十綱橋)



実習期間の後半では、当事務所若手職員との意見交換会を行いました。年齢が近く、県に入って数年の先輩方と、とても前向きな話を

をしました。出身地、県職員を選んだ理由、やりがい、一日のスケジュール、異常気象時の対応、休日の過ごし方などのプライベートに至るまで、熱心に聴いていました。

当事務所のインターンシッププログラムでは、当事務所で担っている道路や河川の整備事業や維持管理、広報等の企画系業務や建築関係業務に至るまで、各課から業務内容の説明を行った後、実際の現場での施工管理業務の見学や体験実習を行いました。

その他、管内の歴史的な施設等を回るインフラツーリズムやトンネル防災訓練、令和元年東日本台風で被災した施設の復旧状況の見学を行いました。



緊迫のトンネル防災訓練



広報業務実習として
ニューズレターを作成
特別編として、
発行します。

インターンシップ実習最終日は、成果報告会を行いました。見て、体験して、知って、感じたこと、考えたことをパソコンで作成したレポートを映写し、発表してもらいました。

発表後の質疑応答では、「建設事務所に入ったら、どの部署に配属になりたいですか。」と、恒例の質問が出ましたが、新しく施設を作る道路課や、維持管理を行う管理課など、回答が偏ることなく、嬉しく思いました。

今後の実習生の皆さんの大学生活が実りあるものとなり、その後、一緒に働く機会があればと願っています。

**来年も、インターンシップ実習
希望者をお待ちしています！**



成果報告会

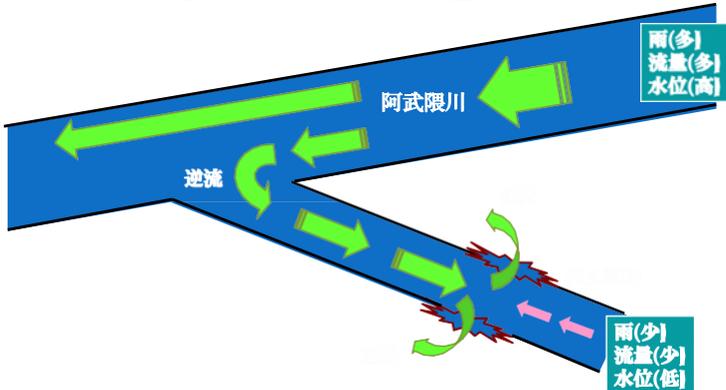
佐久間川河川改修事業について

佐久間川は桑折町の半田山を源に市街地を経て国見町から阿武隈川に注ぐ一級河川です。

令和元年の台風19号により、阿武隈川の流れが佐久間川へ逆流し、堤防の低い箇所から氾濫(はんらん)したことで、甚大な被害をもたらしました。このような氾濫(はんらん)を防止するため、佐久間川の整備に取り組んでいます。

被災原因

阿武隈川の流れが佐久間川へ逆流し、堤防が低い部分から氾濫しました。



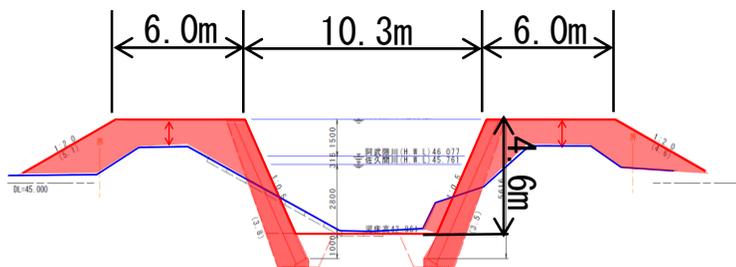
河川改修内容

阿武隈川からの逆流による氾濫を防止

佐久間川上流からの流水を安全に流す

阿武隈川本川の堤防と同じ高さ、同じ幅の堤防を整備

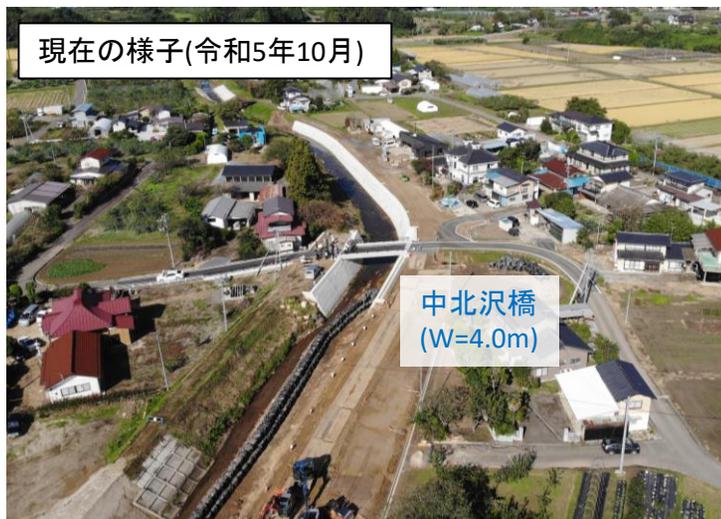
川幅を広げ 護岸を整備



整備前の様子(令和2年7月)



現在の様子(令和5年10月)



河川整備に合わせた橋梁の架け替え工事は、地元の皆様と道路管理者である桑折町と相談し、車両や歩行者が快適に通行できるよう、2橋を1橋に集約し、橋の幅を4mに広げる計画とし、令和5年10月に新しい中北沢橋が完成しました。

中北沢橋の開通式が執り行われました！



左から 蓬田北沢町町内会会長
長嶺福島県北建設事務所長、
高橋桑折町長、後藤地区代表

令和5年10月11日(水)、桑折町主催による開通式が執り行われました。

桑折町長から、歴史的な大災害を忘れることなく、中北沢橋が皆様に愛される希望の橋となることを期待するとのあいさつがありました。続いて、当事務所所長から事業説明を行った後、テープカット、渡り初めが行われました。

また、地元の方より「橋が完成し通行できるようになってうれしい」「今後、護岸工事が完成することで、よりよい地域となる」とのお話をいただきました。

今後も引き続き、河川工事の完成に向け、施工を進めてまいります。

福島県県北建設事務所 企画調査課

TEL 024-521-2513 FAX 024-521-2848

HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41310a>

